学報 NITTAIDAI 68
2022.SPRING

日体大から、始まる

みなさんの夢、新しい時代。
すべてが日体大から始まる。
力強く、ともに前へ進んでいこう。

特集■学長・副学長・学部長メッセージ—1
特集■北京2022オリンピック・パラリンピック—5
第24回オリンピック冬季競技大会（2022/北京）
戸塚 優斗（スノーボード）—7
チアリーダー部 VORTEX
チアリーディング日本選手権大会で日本一に！—9
令和３年度 教員採用試験合格者メッセージ—11
多様な修学サポート制度で学生生活を応援—13
日本体育大学同窓会 Nittai Alumni 紹介—15

日体大らしい活動的な年にするために、学生の皆さんの積極的な協力を

第13代学長

石井（いしい） 隆憲（たかのり）

◆新入生・在学生の皆さんへ

新入生・在学生の皆さん、いよいよ新年度が始まります。その一方で新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが引き起こされてから早2年が経過しました。しかし、いまだ収束が見えない状況にあります。このようなwithコロナ時代において、今年度は日体大らしい活動的な一年となることを目指していきたいと思います。

昨年度までの2年間は様々な行動制限がおこなわれ、大学らしいイベントや活動もままならない状況が続いていました。今年度は大学も感染症対策の医学的エビデンスに基づきながら、能動的に直截的なコミュニケーションを皆さんと取っていく工夫を凝らしていきます。学生の皆さんも、ぜひ、積極的にいろいろなことにチャレンジしてみてください。大学時代の様々な出会いは皆さんの今後の人生を大きく左右するはずです。皆さんの健闘を期待します。

◆授業の受講にあたってのお願い

今年度はこれまでの感染対策で積み上げられてきた医学的知見ならびに経験的知識に基づき、対面による授業の実施を実現すべく、授業の時間帯を大幅に変更します。感染リスクの最も高い昼食の時間帯を分散させることで感染を防ぐという取り組みです。もちろん、このイレギュラーな時間帯は暫定的なもので、今後、新型コロナウイルス感染症に対する新薬等の登場によって、社会状況が変わってくれば、本来の時間帯に戻していくことになります。すぐには慣れない時間の配置ではありますが、ご協力をお願いしたいと思います。

◆実習を実現させるために

次に、今年度、現地での実習を実施するために、学生の皆さんにも積極的に協力をお願いしたいと思っています。本学では、夏と冬に大規模な実習が行われます。この2年間は現地での実習そのものが実施できなかったり、実施しても実習中に陽性者が確認されたことで、現場での実習が中止になるなど、幾度となくトライ・アンド・エラーを重ねてきました。

その中でわかったことの一つに、大学だけが周到な準備を重ねても実習は成功しないということでした。学生の皆さんの積極的な協力が不可欠であることが、改めて明らかとなったわけです。実習を実施するにあたり、参加する学生の皆さん一人ひとりが、自己管理を徹底してもらうことで、初めて実習が成立するということなのです。

昨年は、「ちょっと調子が悪いけど、自分だけは大丈夫だろう」とか、「まあ、いいか」といった自分自身の判断のあまさによって、実習の途中で数百人規模の現地実習がすべて中止となり、実習ができないながらも数千万円の費用を負担しなければならないという事態が発生しました。いくら注意をしていても感染してしまうことはありますし、それをとがめるものでもありません。しかし、少しだけ自分自身を厳しく管理することによって、未然に感染を防ぐことが出来るという経験もしてきました。学生の皆さんには、ぜひ、責任のある行動、自己管理をしてもらいたいと思います。ほんの少しだけ想像力を働かせると、回避できるリスクはたくさんあります。どうするかの判断は、この決断によって起こるリスクを想像するとよいでしょう。こうした想像力を働かせることで、適切な行動をとることが出来るはずです。皆さんの実習が実りあるものとなるよう願っています。

●Profile 石井 隆憲（いしい たかのり）

❶日本体育大学大学院体育学研究科修士課程修了（S60.3）／❷博士（社会学）東洋大学（H10.3）／❸NPO法人日本チンロン連盟代表理事、元日本スポーツ人類学会会長。ミャンマー・スポーツ省客員研究員（H11.4～H12.3、H16.4～H17.3）としてミャンマーに赴き調査活動に携わる。／❹剣道部でしたが剣道では芽が出ず、研究の道を志しました。そして私自身の生き方を変える「スポーツ人類学」という学問に出会いました。／❺ミャンマーの伝統スポーツ、チンロンです。リフティングのようにボールを蹴ってパフォーマンスを競い合うスポーツです。私は日本代表の監督も務めており、国内でのさらなる普及を目指しています。

挑戦者として、最後まで諦めない強い精神力を養ってほしい

副学長（企画・管理・運営担当）

水野 増彦（みずの ますひこ）

副学長の職務は2年目を迎えますが、さらに、気を引き締め学長を支えていく所存です。「體育富強之基」の建学の精神を基本理念とし、日体大の各学部の特色を打ち出し、日々、教育、研究、社会貢献を推進しスポーツがひらく新たな地平（スポーツ、身体、生命をキーワードに学問の射程拡大）を進化させながら「身体に纏わる文化と科学の総合大学」としての日本体育大学を世の人々に理解していただくよう行動に移していきたいと思います。具体的には、理事会の基本方針である「ワンファミリー」「国際化」「選手強化」のさらなる強化と発展、そして特色と個性を生かした魅力ある大学で質の高い教育研究環境と教育課程を構築していきたいと思います。また、日体大の生命線である「選手強化・競技力向上」は積極的に関わり本学の最大の強みを継承できるようにしたいと思います。学生諸君には、何事においても挑戦者として、最後まで諦めない強い精神力を養っていただくことを望みます。

●Profile 水野 増彦（みずの ますひこ）
❶日本体育大学体育学部体育学科（S58.3）／❷体育学士／❸日本体育学会、日本コーチング学会、日本陸上競技連盟強化委員（障害部長）、関東学生陸上競技連盟評議員歴任、文部科学大臣賞（H13/H15）、日本学生陸上競技連盟指導者功労賞（S63）、関東学生陸上競技連盟指導者功労賞（S63/H13/H15）／❹陸上競技部で仲間と共に練習に励んでいました。卒業後２年目の助手時代に日本選手権で優勝し競技人生最高の時を迎えました。／❺最近はNetflixで映画や韓国ドラマを観ています。観葉植物や花を育てながら成長を見守るのも楽しみです。

今できること、今やらなければならない ことに貪欲に挑戦を

副学長（教学・学生生活担当）

八木沢 誠（やぎさわ まこと）

２０２１年４月、第13代学長に就任された石井隆憲学長より副学長を命ぜられ、特に「教学・学生生活」を担当する副学長としてその任に当たっています。

２０２０年１月に、我が国で第１号となる新型コロナウィルス感染症患者が認定されてから早２年以上が経過しました。過去２年間はどこの大学も手探り状態での大学運営だったと思います。この間、感染者数は増減を繰り返し、本学においても入構制限や授業対応方法の変更、学友会活動の制限等を余儀なくされました。現在は「ｗｉｔｈコロナ」とも言われるように、社会活動、大学生活を停止することなく、上手く付き合っていくことが求められています。本年度についても先行き不透明ではありますが、過去２年間の反省も踏まえ、学生達が満足できる大学生活が送れるよう臨機応変に対応していきたいと考えております。学生の皆さんも「今できること、今やらなければならないこと」に対して貪欲に取り組んで欲しいと思います。

●Profile 八木沢 誠（やぎさわ まこと）
❶日本体育大学大学院体育科学研究科（H2.3）／❷修士（体育学）／❸日本体育・スポーツ・健康学会、日本武道学会、スポーツ史学会、日本応用心理学会、日本運動・スポーツ科学学会、（一財）全日本学校剣道連盟常任理事、関東学生剣道連盟常任幹事、剣道教士八段／❹大学入学と同時に剣道部に入部しました。当時は230名を超える部員がおり、秋田から出てきた田舎侍はその多さに面食らってしまいました。同じ釜の飯を食った先輩・同級生・後輩たちとの縁は財産となりました。／❺掃除と園芸。最近は季節ごとに咲く花を育てることが楽しみです。草花の生命力に驚き、力をもらっています。

スポーツ・文化・マネジメント・教育・健康・医療 多様なフィールドの専門家が皆さんを夢の実現に導きます

大学生活の魅力の一つは、先生方や仲間との出会い。技術や知識から人生観まで、4年間で吸収することはかけがえのない財産になるはずです。皆さんに先生方を身近に感じて、つながりを深めていただくために、学部長の先生方の素顔を紹介します。このほか、多くの先生方が皆さんをサポートしていきますので、気軽に相談してください。

社会の要請に応えられる日体生に

体育学部　学部長

野井（のい）　真吾（しんご）

◆日体生に望むこと：Society 5.0（超スマート社会）とされる社会では、いまほど身体活動が必要なくなると思うかもしれません。ただ、ヒトは動物です。動かなければヒトにも人間にもなれません。また、ヒトは人間でもあります。人間は家族や仲間と群れながら進化してきました。そう考えると、動くこと、群れることが制限されてしまうような時代にこそ、体育・スポーツ・身体活動への期待はますます大きくなると思います。そのような社会的要請に応えられる日体生になってください。

●Profile　野井 真吾（のい しんご）

❶日本体育大学体育学部（H3.3）／日本体育大学体育科学研究科（H14.4）❷博士（体育科学）❸日本体育・スポーツ・健康学会、日本学校保健学会（代議員）、日本教育保健学会（常任理事）、日本幼少児健康教育学会（副理事長）、子どものからだと心・連絡会議（議長）等❹学生時代は学友会サッカー部に所属し、練習がある日もない日も、四六時中サッカー部の友だちと一緒にいました。自慢できるような競技実績は何一つ残せなかったものの、かけがえのない思い出になっています。❺日ごろは、子どもの“からだ”にこだわった研究活動に従事しています。そのため、子どもの“からだ”については、おおよそどんなことにでも興味があります。

スポーツを通じて社会的課題の解決を

スポーツ文化学部　学部長

岡出（おかで）　美則（よしのり）

◆日体生に望むこと：2000年を境に、スポーツは国際的な課題や社会的な課題解決に向けた効果的なツールであるとの認識が、国際社会で共有されるようになりました。そのため、ユネスコや国連、日本政府、企業、NPO等が実に多様な活動を展開しています。皆さんには自分の可能性を高く評価し、スポーツを通した社会的課題の解決に向けて国際社会や日本国内で新たな課題に挑戦する人材に育ってほしいと考えています。

●Profile　岡出 美則（おかで よしのり）

❶奈良教育大学教育学部小学校教員養成課程(S55.3)／筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学専攻(S57.3)❷博士(教育学)❸日本体育学会（副会長）、日本スポーツ教育学会（副会長）、日本体育学会学会賞❹大学時代は、大阪から奈良に通っていました。3年生以降、ドイツ語学校にも通い始めました。大学院時代には、資料を確認するために筑波から日本体育大学の図書館にも来ていました。❺人に会うことが好きです。以前はドイツによく行きましたが、最近、韓国、中国、カンボジア、ミャンマー、インドネシア、シンガポール、香港、インド、タイとアジアの知り合いが増えました。

最終学歴❶学位❷経歴等・おもな所属団体❸学生時代の思い出❹特技・趣味❺

みなさんひとりひとりが主役です

保健医療学部　学部長

中里（なかざと）　浩一（こういち）

◆日体生に望むこと：体育・スポーツ界を中心に華々しい成果に彩られた長い歴史を持つ日体大ですが、その栄光を作ってきたのは学生の皆様ひとりひとりです。そして日体大の更なる輝きに火をともすのは在学生、そして新入生の皆様に他なりません。他大学の追随を許さない日本一の環境はそれぞれの夢に向かって挑戦するにはうってつけです。卒業時に大きな成長、かけがえのない友、ゆるぎない学力が得られ「最高の4年間だった」と思えるような学生生活にしていただきたいですし、そのような環境づくりを心がけていきたいと思います。

●Profile　中里 浩一（なかざと こういち）

❶東京大学教養学部基礎科学科第一（H4.3）/東京大学大学院広域科学専攻（H10.3）❷博士（学術）❸日本体力医学会（理事）、日本運動生理学会（理事）❹学部時代は友人と車中泊をしながら北海道旅行をしたりオートバイで日本中をツーリングしたりしたのがいい思い出です。大学院以降の思い出は全て研究活動、とりわけ指導教員の先生をはじめとする研究室の皆様との昼夜を問わないディスカッションです。❺魚釣りと答えるようにしています。

人としての成長を遂げてほしい

児童スポーツ教育学部　学部長

近藤（こんどう）　智靖（ともやす）

◆日体生に望むこと：学生時代は人生の中でも最も自由な時間であると思います。学内外で自分の居場所を見つけ、様々な経験や学びをして欲しいと思っています。授業や実習だけではなく、クラブ活動、アルバイト、ボランティア活動に取り組み、様々な世代の人と関わって欲しいです。楽しいことばかりではなく、ひどく悩むことも多いと思いますが、何事に対しても試行錯誤を繰り返しながら、人としての成長を遂げてもらえればと思っています。

●Profile　近藤 智靖（こんどう ともやす）

❶宮城教育大学教育学部(H6.3)／筑波大学大学院人間総合科学研究科体育科学専攻(H18.3)❷博士（体育科学）❸日本スポーツ教育学会（理事長）、日本体育科教育学会（常任理事）、日本学校体育研究連合会（理事）❹日体大卒ではありませんが、学生時代は日体大生と同じような経験をしてきました。男子寮、硬式野球部、体育コースに所属し、海浜・スキー・キャンプ実習にも参加し、仲間と大騒ぎしていました。❺家庭では「仕事が趣味の人」「2階の住人（仕事場が自宅２階にあるため）」と呼ばれます。

積極的に学ぶことで未来は開ける

スポーツマネジメント学部　学部長

日比野（ひびの）　幹生（みきお）

◆日体生に望むこと：スポーツマネジメントの時代が到来したといわれています。スポーツ界は、スポーツ特有のマネジメントを求めています、しかし、まだスポーツマネジメント人材として活躍できる者は限定的です。日体大のスポーツマネジメント学部は、我が国で最初に開設されたスポーツマネジメントを修めることができる学部です。この恵まれた環境を活かすのは日体生である皆さん次第です。自ら学ぶ姿勢を持って積極的になった時に必ず将来は開けるでしょう。皆さんに期待します。

●Profile　日比野 幹生（ひびの みきお）

❶日本体育大学体育学部体育学科（S60.3）／早稲田大学大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻（H27.3）❷博士（体育科学）❸日本体育・スポーツ政策学会（理事）、ヨーロッパスポーツマネジメント学会、日本スポーツマネジメント学会奨励賞受賞（H30）、日本スポーツ産業学会奨励賞受賞（H29）❹日体大でスポーツ好きの仲間と一緒にレベルの高い実技の授業や実習を受講できたことは忘れられない思い出です。❺スタジアムに興味・関心があります。世界各地のスタジアムを訪ね歩くのが大好きです。

選手たちの情熱、ひたむきな挑戦が感動と勇気を与えてくれた

圧倒するスピード、迫力。華麗な技。冬季競技の魅力を存分に堪能されてくれた大会だった。その陰で、コロナ禍による練習の制約、社会環境の変化など、重い負担が選手たちにかかっていたことだろう。しかし、試合や演技では、そのような重圧はまったく感じさせなかった。今、この瞬間の環境の中でベストを尽くしたい。ただ純粋な気持ちで選手たちが自らの限界に挑戦し続けたからこそ、感動を呼び、世界が惜しみない声援を送ったのであろう。選手たちはすでに次の大会に向けて歩み始めている。新しい時代の幕が開く。

日体大が擁する冬季競技の実力派・若手が北京の舞台へ。困難に打ち克ち、全力で戦い抜いた選手たちに拍手を送ろう。

RERORT

第24回オリンピック冬季競技大会（2022/北京）

コロナ禍が続き、厳しい警戒態勢の中で実施された今大会。さらに環境へ配慮した試みもいっそう推進された。2008年の夏季オリンピックでも使用された国家体育場（通称：鳥の巣）において、2022年2月4日（金）に開会式を実施。2月20日（火）までの日程で、91の国や地域から約2900人の選手が参加し、史上最多の109種目で競い合った。日本からは124選手が参加し、日体大職員の髙木美帆（スピードスケート）が日本選手団主将を務めた。

日本勢は冬季大会最多の18個（金3・銀6・銅9）のメダルを獲得。このうち4つを髙木が獲得した。髙梨沙羅（スキージャンプ）は予期せぬハンディを跳ね返し、2種目で4位入賞と健闘。そのほか、日体大関係者では戸塚優斗（スノーボード）が決勝に進んだ（10位）。各選手の今後のさらなる活躍が期待される。

RERORT

北京2022 冬季パラリンピック

北京2022 冬季パラリンピックは、2022年3月4日（金）から3月13日（日）までの日程で、46の国や地域から約560人の選手が参加し、78種目で競い合った。開会式では、差別や憎しみとは無縁の紛争のない世界を目指す力強いメッセージが発信された。

日本からは29選手が参加し、7個（金4・銀1・銅2）のメダルを獲得。日体大関係者は、アルペンスキーに髙橋幸平、本堂杏実、小池岳太の3選手が出場した。このうち本堂杏実は、持ち前の度胸を発揮した攻めの滑りを見せ、出場したすべての種目で入賞を果たした。大会前のインタビューの通り、次大会でのメダル獲得につながる結果となったと言えるだろう。髙橋、本堂はパラリンピック2大会連続出場、また5大会連続の小池は自転車競技での出場も目指しており、日体大パラアスリートの今後に目が離せない。

TOPIC

髙木美帆が快挙！ 自身と日本勢の記録を塗り替える

北京2022冬季大会で特筆すべきは髙木美帆の活躍だろう。女子スピードスケート1000mで個人として初となる金メダルを獲得（1分13秒19=オリンピック新記録）。同種目500m、1500m、団体追い抜きで3つの銀メダルを獲得し、合計4つのメダルに輝いた。これは、冬季大会の日本勢として1大会で史上最多のメダル獲得である。さらに、平昌大会と合わせてオリンピックでのメダルは7つとなり、夏冬大会を通じて日本女子最多獲得数を更新した。

（日本スケート連盟公式ツイッターより）

日体大関係者　メダリスト・入賞者・出場選手

※五十音順（競技名）

第24回オリンピック冬季競技大会（2022/北京）			
競　技	氏　名	所　属	種目・結果
アルペンスキー	小山　陽平	ベネフィット・ワンスキークラブ	男子回転
スキージャンプ	髙梨　沙羅	クラレ	女子スキージャンプ（個人ノーマルヒル）4位 スキージャンプ（混合団体）4位
スノーボード	戸塚　優斗	ヨネックス（株）／日本体育大学体育学部２年	ハーフパイプ 10位
スノーボード	飛田　流輝	（株）ウィルレイズ／日本体育大学体育学部４年	スロープスタイル、ビッグエア
スピードスケート	髙木　美帆	日本体育大学	女子スピードスケート1000m 金メダル 女子スピードスケート1500m 銀メダル 女子スピードスケート500m 銀メダル 女子スピードスケート団体追い抜き 銀メダル 女子スピードスケート3000m 6位

金 1　銀 3

北京2022 冬季パラリンピック			
競　技	氏　名	所　属	種目・結果
アルペンスキー	髙橋　幸平	日本体育大学体育学部３年	クラス：LW9-2スタンディング（立位） 男子回転 12位
アルペンスキー	本堂　杏実	（株）コーセー／日本体育大学大学院２年	クラス：LW6/8-2　スタンディング（立位） 女子滑降 6位、女子スーパー大回転 8位、女子スーパー複合 6位、女子大回転 7位、女子回転 6位
アルペンスキー	小池　岳太	（株）JTBコミュニケーションデザイン／日本体育大学大学院１年	クラス：LW6/8-2　スタンディング（立位） 男子滑降 21位、男子スーパー大回転 24位、男子スーパー複合 決勝進出、男子大回転 14位、男子回転 18位

※所属・学年は出場時のものです。

日体大アスリートが挑み、感じた世界舞台
第24回オリンピック冬季競技大会（2022／北京）

スノーボード
戸塚優斗
選手

限界に挑戦する、トップレベルの選手と戦う醍醐味。第24回オリンピック冬季競技大会（2022／北京）はさらなる成長の弾みとなるだろう。目指すのは、誰も成し遂げていない技を完成させること。

――北京五輪での競技を振り返って

楽しめた部分はありますが、それ以上に「悔しかった」というのが今の気持ちです。後半の着地でバランスを崩すことがありました。予選と決勝でハーフパイプの状態に変化があり、それに十分に対応できなかったのも要因です。もちろん他の選手も同じ条件だったので言い訳にしかならないのですが、状況に関係なく実力を発揮できていれば、と思うと悔しいです。

――北京の舞台に立った感想は？

前回の平昌五輪は初めての五輪ということもあり、今回よりも緊張していました。当時は自分の実力に自信を持ちきれなかったことも理由でしょう。では、2回目の今回は緊張しなかったかというと、そんなことはありません。今回は今回で、背負うものが増えただけ、別のプレッシャーがありました。というのは、この4年間で多くの世界大会に出場し、優勝も重ねてきました。U・S・OpenやXGamesでも納得できる滑りができて、自信も付きました。五輪でも上位を目指せる位置にいただけに、負けられないという緊張感が強かったです。

――北京に向けて取り組んできたことは？

特にテーマを決めて取り組んだことはありません。常に新しい技に挑戦し、成功したらさらに高さを上げるという繰り返しです。練習を撮影したビデオをコーチたちと見ながら分析や検討を行い、少しずつ完成度を磨いてき

五輪は本当に努力しなければ辿り着くことのできない場所
そこに立てた喜びを糧に、前人未到の技を目指して挑戦を続ける

戸塚 優斗（とつか ゆうと）

光明学園相模原高等学校出身。体育学部３年。

2大会連続オリンピック出場（平昌・北京）。3歳頃からスノーボードを始め、小学生の時にハーフパイプに出会う。中学3年生で、全日本選手権を史上最年少で優勝。以降、高さのあるエアと技の完成度で、数々の国際大会で活躍。

- 2017年、2018年、2021年W杯種目別総合優勝
- 2019年Burton U.S. Open優勝
- 2021年Winter X Games優勝
- 2021年世界選手権優勝

趣味はバイク、お気に入りのアーティストはMrs. GREEN APPLE。

素顔の戸塚優斗とは？「とにかくバイクが大好きです。カッコいんですよね。朝から洗車したり、いじったりして、気分転換しています。インスタでバイクの音を流す動画を見たり、好きなアーティストのライブ映像で気分をリフレッシュしています」

ました。目の前の技や試合に集中していく中で、その先に五輪が繋がっていた感じです。

――大会期間中、現地でどのように過ごしましたか？

普段のように練習し、コーチたちとビデオをチェックして、というように過ごしました。競技に集中していたのでテレビで他の種目を見る機会も少なく、日体大では同じスノーボーダーの飛田選手と会話したくらいです。選手村は、いろんな選手と交流できますし、楽しめたと思います。パンダのマスコットをお土産に買ったり、選手用に用意されたゲームで遊んだりもしました。

――ハーフパイプの楽しさ

ハーフパイプは他の競技より選手同士の距離感が近く、試合の時も1本滑ったらコーチや他の選手たちと会話して、気がついたら自分の順番が来るような感じです。自分は子供の頃にハーフパイプをやってる人と知り合って、楽しさを覚えました。大会で結果を残すのも気持ちが良いですが、仲間と山に上ってパウダースノーの中で滑るのも格別ですし、いろいろな楽しみ方があると思います。

――恐怖心を乗り越えて

ハーフパイプは高いジャンプや高速の回転技を伴うので、危険な部分もあります。練習でも本番でも、そこは恐怖心との戦いです。自分も中学生の時に骨折をしています。それ以降は、幸いなことに大きな怪我はありませんが、競技に向き合うためには恐怖心を克服しなければなりません。試合では集中できても練習では怖くなり、滑るのをやめたくなる時もあります。ただ大会に出る以上は勝たなくてはならないので、そこはもう諦めて「怖いけどやるしかない」と腹を括っています。

――競技に関する思いや取り組み

技術進化のスピードが早いので、常に新しいチャレンジを続けなくてはなりません。歴史が浅い分お手本がなく、正解もありません。何が正しいのか分からず、手探りで進めなくてはならないのが難しい所です。それでもやはり大技を決めれば気持ちいいですし、新しいチャレンジが成功すれば達成感もあります。誰もやったことがないものを自分が完成させたいですね。

――戸塚選手にとって五輪とは？

五輪は本当に努力しなければ辿り着くことのできない場所です。そこに立てるだけでも自分自身で喜べるでしょう。

また、いろいろな人に見てもらえて、自分のことを知ってもらえるチャンスです。僕にとっても、自分のことはもちろん、スノーボードのことを知ってもらえる最高の場だと思います。

――今後の抱負

五輪が終わったばかりで心身ともに疲れているので、少しリフレッシュしたいと思っています。練習はしますが、闇雲にやるのではなく、しばらく自分のペースで進めたいです。中にはすぐに気分を切り替えてガッツリやる人もいると思いますが、今は充電したい。今シーズンはずっとアメリカやスイスの方にいて、北京に来ただけでも「やっと帰れる！」と感じるほどでした。普段は1ヶ月に1回くらいは日本に戻るんですが、今年は3ヶ月戻らないこともあって、本当に忙しい年でした。まずはメンタルを含めて1回リセットしてから、新しい挑戦をしたいと思います。

Smile and vitality for everyone

私たちの笑顔、元気を、すべての日体生、世界の人々へ！

日体大 チアリーダー部 VORTEX
チアリーディング日本選手権大会で日本一に！

JAPAN CUP 2021 チアリーディング日本選手権大会

2021年12月17日(金)～19日(日)に国立代々木競技場第一体育館で開催されました。自由演技競技DIVISION.1 大学部門には全国から48大学が出場。2分30秒の「笑顔の真剣勝負」が繰り広げられました。日体大チアリーダー部VORTEXは、高難度の技や一糸乱れぬダンスを披露し見事頂点に立ちました。

JAPAN CUP 2021 チアリーディング日本選手権大会(自由演技競技DIVISION. 1)で圧巻の演技を披露し、日体大チアリーダー部VORTEXが大学日本一に輝きました。メンバーたちは、各競技の応援やイベントなどで元気を与え続けています。そのパワーを支えているのは、日体魂と固い絆で結ばれたチームワークです。VORTEXの活躍は、日体生にとって心強いエールになるでしょう。

『日体魂』を忘れることなくこの言葉に相応しい日本一の演技、世界一のチームを目指す

チアリーダー部 VORTEX
松本 真咲 部長
スポーツ文化学部
スポーツ国際学科 教授

―日体大チアリーダー部VORTEXとは

チアリーダー部は当初、ダンス部数名から各運動部の応援に携わったことから、1984年に応援団内部にチアリーダー部として発足しました。以降、各運動部の応援、イベントへの出演、チアリーディングの競技会への出場と多岐に渡り活動しております。全国大会では常に上位に位置し、1991年の競技会初出場からジャパンカップ・全日本学生選手権大会等あわせて優勝11回、準優勝6回という好成績を納めています。多くの学生は、卒業後も中学校・高等学校の教員として、チアリーディングの指導にあたり、大学、キッズチームの指導者としても好成績を納め多方面で活躍しています。

―部の理念・モットー

部には、『日体魂』という言葉が代々受け継がれています。この言葉には色々な意味が含まれています。日体生として誇り、自覚を持ちチアリーダーとして何よりも仲間を思いやり、仲間と一緒にどんな辛いことも乗り越え、日本一になる為には妥協をせず、格好いい、強いVORTEXであること。この『日体魂』を忘れることなく、この言葉に見合った日本一の演技、世界一のチームを目指しています。

―日体大における部の存在

入学式等の式典、オープンキャンパス等の学校行事の依頼も率先して引き受け、日体大を背負う、応援リーダー的存在を目指しております。チアリーダーとしての溌剌さ、華やかな笑顔で更に日体大を盛り上げる役割を担っていると思います。

―チアに興味がある新入生・高校生へ

華やかさの裏には、「頑張っている人を応援したい」「見ている人を楽しませたい」「自分たちの演技をやり遂げたい」と言うチアリーダーたちの強い思いがあります。共感できる学生は是非一度体験してください。

―今後の抱負

今年度からチアリーダー部は運動部に移行しました。今までよりも更に競技に力を入れていき、上を目指しチアリーダーとして、輝き続けたいと思います。また、従来通り、各運動部の応援にも全力を注ぎ、選手の皆さんに少しでも勇気と力を発揮していただけるよう、一丸となり盛り上げていきたいと考えております。

どのチームにも負けない元気や勢い 日体大らしさを全面的にアピールし、チーム一丸となって日本一に輝く

チアリーダー部 VORTEX
羽田 真紀子
監督

チアリーダー部 VORTEX
大槻 彩子
ヘッドコーチ

――日本選手権優勝を振り返って

新型コロナウィルス感染拡大の影響から、昨年度は競技形態に大きく変更がありましたが、今年度からはほぼ通常通りでの大会開催となりました。優勝の要因としては、本番の演技は準決勝、決勝と2回行いましたが、どちらもノーミスの演技をすることができ、プレッシャーや緊張にも負けることなく、今持っている力を最大限に発揮できたことだと思います。勝つために日体らしさ「元気さや勢い」を全面にアピールできる演技を目指して大会に臨みました。今年度のチームは、大変明るく、真っ直ぐなチームであったと感じています。最上級生である4年生の絆が強く、常に全身全霊でチームを引っ張り、チーム一丸となって大会を迎えることができました。

――日体大チアリーダー部の特徴・強み

長い歴史を持つVORTEXは、チアリーディング界において常に注目されているチームです。その強みは、「格好良さ・勢いや力強さ」また、常に新しいことに挑戦していく先駆者の精神です。チアリーディングにかける情熱・仲間を思いやる気持ちなどが、日体大にしかできない「日体魂」が込められたチアリーディングに繋がっています。

――指導で力を入れていること

精神面での成長を大切に指導しています。まずは、目の前にいる仲間を大切にすること、全力で諦めない姿勢で挑むこと、日体大チアリーダー部としての誇りと自覚を持って行動することなど、精神面での成長が最終的にはパフォーマンスに生きてくると考えています。

――チアに興味がある新入生・高校生へ

大学からチアリーディングを始めた部員もいます。未経験・体が硬い・ダンスが苦手など全く問題ありません。チアリーディングをやってみたい！その情熱があれば、誰にでも挑戦できるとても楽しいスポーツです。VORTEXで一緒に青春を謳歌しましょう！

――今後の抱負

応援でも競技大会でも日本一をモットーに活動しています。これからもその目標をぶらさずに、日本一の応援・日本一の演技・日本一のチームを目指し、更に成長していけるように全力で活動していきます。

家族のような部員たちと頂点に立った喜び。人のために活動できることがチアリーディングの素晴らしさ。

――日本選手権優勝を振り返って

とにかく「最高」の一言に尽きます。そして感謝の気持ちでいっぱいです。VORTEX一丸となり、仲間と築き上げてきた努力が報われた瞬間の景色は何にも変えられない最高の贈り物でした。そしてたくさんの方々の支えがあり、ここまで来ることができました。ありがとうございます！

――日体大チアリーダー部の雰囲気

上下関係がしっかりとした中でも演技などに関しては学年関係なく意見を出し合い、全員で演技を創っています。オフは各自で身体のケアなど次の練習への準備をするように心がけています。

――入部した理由

私の中のVORTEXのイメージは強くて愛のあるチームです。現役部員だけの繋がりではなく、卒業した先輩方も強く繋がっている家族のようなチームです。そんな温かいチームでチアがしたいと思い、VORTEXに入りました。実際に4年間過ごし、周りの人のお陰で素敵な4年間を過ごすことができました。一生の宝物ができました。VORTEXに入って本当に良かったです！

――チアリーディングの魅力

人に何かを伝えられることです。演技の難易度や技術にとどまらず、演技している自分たちの気持ち次第で、演技を見てくれている人に応援、感謝、自分達の意思などさまざまなことを伝えることができます。どんなチアリーダーでも気持ち次第で人に元気や笑顔を与えられる。そうやって誰でも人のためになれることがチアリーディングの素晴らしさだと思います。

――部活動の一番の思い出

卒業式演技です。毎年、在校生からお世話になった4年生に向けて演技をします。全員で大切な先輩を想って、先輩のために感謝の気持ちを届ける演技をする。このチームの愛を強く感じるあの場が大好きで思い出に残っています。

――部のアピール

VORTEXは初心者もメンズもいるチームです！少しでもチアリーディングに興味がある、4年間で家族みたいな仲間を作りたい、濃い4年間を過ごしたいと思ったら是非体験だけでも来てみてください！

チアリーダー部 VORTEX
2021年度主将
新舘 礼依

教員志望者の夢を実現

夢に向けて学修や諸活動に励み、教員採用試験に合格した先輩たち。４年間で身に付けた日体大スピリットを教育現場で継承してくれることでしょう。教職センターは、社会の期待に応える教員を輩出するため、教員志望者への一層力強いサポートを展開していきます。

【令和３年度　教員採用試験合格者メッセージ】

氏名（ふりがな）、在籍学部学科、出身高校、合格先、コメント、顔写真

野村 健太郎（のむら けんたろう）

体育学部体育学科
埼玉県立熊谷高等学校出身

合格先
埼玉県（特別支援）

生徒から学び、成長していきたい

日体大を選んだ理由：中学校のときにお世話になった先生に憧れて教員を志望しました。姉が障がいを持っており、特別支援学校に通いながら成長していく姿を見て、特別支援教育に興味を持ちました。体育学科では、保健体育だけでなく、特別支援学校の教員免許状も取得することができます。体育・スポーツについてさまざまなことが学べるのも魅力でした。

日体大で学んでよかったこと：教職センターのプログラムは「教員採用試験二次試験対策集中講座」などに参加しました。実際に学校管理職や面接官の経験のある講師の方々に、面接や集団討論の実践的な対策をしていただきました。学部の授業では、スポーツ哲学が印象に残っています。今まで自分が感じていた疑問を解決することができ、教員になってから大いに役立つと思っています。

どんな教員になりたいか：自分の指導が生徒の将来に関わることを自覚し、生徒のことを第一に考え、生徒のために動ける教員が理想です。また、生徒と近い目線に立ち、生徒の求めに応えられる教員になりたいです。そのために、生徒たちからさまざまなことを吸収し、学んでいきたいと思います。

後輩へのメッセージ：志望する自治体の試験要綱を確認し、どんな勉強をすれば合格できるのかをイメージしてみましょう。ライバルは日体生だけではありません。全国の国立大学の学生や、実際に講師として現場経験のある人です。早くから準備し、ライバルに差をつけましょう。

綾　海斗（あや かいと）

体育学部体育学科
東京都立東高等学校出身

合格先
東京都（中学校・高校　保健体育）
北海道（中学校　保健体育）

子どもたちの心と記憶に残る教員に

日体大を選んだ理由：中学時代に、指導を多く受ける立場であった私を決して見放さず、粘り強く接してくださった先生に感謝の気持ちを抱いたことがきっかけです。次は私が、困難や悩みを抱える生徒に手を差し伸べる存在になりたいと思いました。「日本一の体育教師になりたい！」と思っていましたので、進学先は日体大しかありませんでした。

日体大で学んでよかったこと：教職センターのプログラムは「日体教学舎」「教員採用試験対策セミナー（基礎・応用）」「教員希望者相談ブース」「教員採用試験二次試験対策集中講座」などに参加しました。講師の先生方がこれほど充実していてきめ細かく指導してくださるのは日体大だけです。教職以外の授業でも、各スポーツの技能や知識が高いレベルで学べますし、トップアスリートとともに過ごした経験談は生徒が興味を持つはずです。

どんな教員になりたいか：「子どもたちが卒業後もずっと覚えている教員」になりたいです。そのために、楽しく、ためになる授業、積極的なコミュニケーション、教育的愛情あふれた指導を適切に行えるように努力します。４月から、いろいろなことに挑戦して、たくさん失敗して、力を付けたいと思います。

後輩へのメッセージ：夢は叶いますし、叶えるものです。今できることを一生懸命頑張ってください！不安になったときは「私が教員にならないで誰がなるんだ、子どもたちが待っている！」と自分に言い聞かせましょう。

明石 鈴乃（あかし すずの）

児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科
神奈川県立横須賀大津高等学校出身

合格先
横浜市（小学校）

子どものために、ともにある教員に

日体大を選んだ理由：「子どもが好き」「学校が好き」というシンプルな気持ちから教員を目指すようになりました。小学校を選んだのは、教員としての私の希望や理想に最も合っていると考えたからです。日体大は尊敬する高校の顧問の先生が日体大出身だったことから選びました。小学生のとき、水泳と縄跳び以外は体育の授業が大嫌いで、日体大で学んで、体育嫌いな子どもも楽しめる授業ができるようになりたいと思ったことも理由です。

日体大で学んでよかったこと：教職センターのプログラムは「教員希望者相談ブース」「教員採用試験二次試験対策集中講座」などに参加しました。経験豊富な先生方から多くのことを学べたことはもちろん、他の学生たちの努力する姿を見て「自分も頑張ろう」という気持ちになりました。また、何事にも夢中になって取り組むパワフルな学生が多い日体大の環境からたくさんの刺激を受けました。

どんな教員になりたいか：どんなときでも、活動を楽しむ心を持ち、前向きに取り組む姿勢を子どもに見せることができる教員になりたいです。喜びも悔しさもともにし、一人ひとりの子どもにしっかりと向き合っていきたいと思います。

後輩へのメッセージ：模擬授業や面接、場面指導の練習の際に、所属している研究ゼミ、地元の教員志望の友人同士、同じ学部の同級生同士、大学の講座など、いろいろな集団に参加して練習するとより多くの気づきを得ることができると思います。

令和３年度
教員採用試験現役合格者

2022年2月末時点で教職センターに報告された情報に基づき作成しています。

【北海道】
《小学校》 1名
《養護》 2名
【北海道・札幌市】
《小学校》 1名
《中学校》 1名
《養護》 2名
【秋田県】
《小学校》 1名
《養護》 1名
【福島県】
《小学校》 2名
【栃木県】
《小学校》 1名
【茨城県】
《小学校》 1名
《中学校》 2名
【群馬県】
《中学校》 1名
【埼玉県】
《小学校》 2名
《中学校》 1名
《高校》 2名
《特別支援》 1名
【埼玉県・さいたま市】
《中学校》 1名
《中学校・高校》 1名
【千葉県】
《小学校》 1名
《中学校・高校》 1名
【千葉県・千葉市】
《小学校》 2名
《中学校・高校》 1名
【東京都】
《小学校》 3名
《中学校・高校》 6名
【神奈川県】
《小学校》 1名
《高校》 1名
【神奈川県・横浜市】
《小学校》 7名
《中学校》 4名
《中学校・高校》 1名
【神奈川県・川崎市】
《小学校》 2名
【山梨県】
《小学校》 1名
【静岡県・浜松市】
《小学校》 1名
【滋賀県】
《高校》 1名
【広島県・広島市】
《小学校》 1名
【長崎県】
《小学校》 1名
【熊本県】
《小学校》 1名

充実した指導体制で

教職センターでは、「日本体育大学の教員養成について」に掲げる「養成する教員像」を目指し、「教員免許状取得プログラム」と「教員養成プログラム」を構成。それぞれ３つのステージからなるプログラムで教職を目指す学生を総合的にサポートする体制を整えています。

日本体育大学の教員養成について

日本体育大学では、“日本体育大学　建学の精神”のもと、以下のような教員養成を目指している。

【養成する教員像】

将来を担う子供たちの教育に対する強い使命感のもと、社会が期待する教育の推進・充実に資する資質・能力を有し、実践できる教員

【養成すべき４つの力】

1. **人間性**：教育者としての人間性を身に付け、高めていく力
＜具体的な資質・能力等＞
道徳心、思いやり、誠実、協調性、人間的魅力　等

2. **社会性**：子供たちの模範となる社会性を身に付け、高めていく力
＜具体的な資質・能力等＞
責任感、コミュニケーション能力、課題解決力、組織人の一員としての自覚　等

3. **専門性**：日本体育大学の歴史と伝統に培われた本学ならではの理論と実践に基づいた専門性を身に付け、高めていく力
＜具体的な資質・能力等＞
教養、専門的知識、児童生徒理解、指導力、企画力、言語能力、表現力、創意工夫　等

4. **国際性**：世界的な視野のもとで、教育に貢献できる国際性を身に付け、高めていく力
＜具体的な資質・能力等＞
多様性、伝統・文化理解、国際的なコミュニケーション能力、多様な言語・表現力　等

教員免許状取得プログラム

教育職員免許状を取得するためのプログラムです。

スタートガイダンスⅠ
教育職員免許状を取得するためにはどのように進めていくべきか、今後やるべきことや説明会の参加、手続きなどの説明を行います。

学習計画書
大学生活の中で自分自身がどのようなことを学び、スキルをあげていくのか学年ごとに学習計画を立てます。また、計画を実行できたかを振り返り、必要に応じて学習計画の変更を行います。

教職履修カルテ
教職課程の科目履修を始めてから、「教職実践演習」（4年次開講）の授業を受けるまでの間に、各自『教職履修カルテ』を作成することとなります。

説明会・講習会
教育職員免許状を取得するためには、指定された手続きが多くあり、期限内に行う必要があります。説明会・講習会で詳細の説明を行いますので、開催される全ての説明会や講習会への参加が必須となります。

実習・体験
教育職員免許状を取得するために教育現場、社会福祉施設等学外にて介護等体験や教育実習を行います。

教員養成プログラム

質の高い教員の養成および教員採用試験を突破するための講座等を総称したプログラムです。

ステージ	目的	講座名	身に付けるべき4つの力			
			人間性	社会性	専門性	国際性
ファーストステージ	資質・能力を理解し、教職を学ぶための基盤を固める	基礎セミナー		○	●	
		Global Cafe			○	●
		教育ボランティア	●	●		
		模擬試験（解説付）			●	
		分野別セミナー（専門教養）			●	
セカンドステージ	教育現場の課題を理解し、解決できる能力の基盤を構築する	分野別セミナー（教職教養）			●	
		分野別セミナー（小学校全科）			●	
		教員採用試験説明会	○	○		
		同窓会連携学習会	○	●	●	
		自治体による教員養成	●	●		
		模擬試験			●	
		教員採用論作文対策講座		●	●	
		教員養成合宿	●	●	●	
サードステージ	専門的な知識を学び、教育現場で活用できる能力を身につける	分野別セミナー（直前対策）			●	
		日体教学舎	●	●	●	○
		ICT活用教員指導力養成講座		○	●	○
		教員採用試験二次試験対策集中講座	●	●	●	○

このほか「スタートガイダンスⅡ」、教育現場での経験豊富な学習支援員による「教員希望者相談ブース」を実施しています。

制度で学生生活を応援

東京・世田谷キャンパスと横浜・健志台キャンパスの「学生支援センター」に相談したり、インターネットを利用して情報収集したりしてみましょう。

【 奨 学 金 制 度 】

本学では、人物・学業ともに優れた者の育英、経済的理由により修学が困難な者に対する援助を目的とした大学独自の奨学金制度を設けています。

雄渾奨学金

本学を応援してくださる方々（教職員含む）からの寄付を原資とし、奨学金の貸与を受けている者でかつ経済的に困窮し修学困難な者が対象（1～4年次）。2021年度は新型コロナウイルス感染症による家計急変者の支援にも対応しました。

＜給付額＞

一律20万円を給付

＜申請時期等＞

10月頃に申請

メイドー･MCS･長谷川奨学金

課外活動等の大学生活において目標に向けて強い志を持って取り組んでいる者が対象（2～4年次）。長谷川士郎氏、株式会社メイドー、株式会社MCシステムズのご意向により創立されました。

＜給付額＞

一律25万円を給付

＜申請時期等＞

前年度後学期に申請（1～3年次に申請）

一般奨学生

学業成績優秀者を対象とした奨学金です。本学奨学生選考委員会の選考を経て、採用が決定します。このほか、競技成績優秀者に対しては特別奨学生を設けています。

＜給付額＞

1年次：入学金、施設整備費

2～4年次：施設整備費、教育充実費

＜申請時期等＞

申請不要（１年次は前学期中、２年次以降は学費納付時に該当者に通知）

奨学金制度は年度毎に採用されるものです。そのため、前年度に奨学生であっても、選考の結果、翌年度は奨学生でなくなる場合があります。

【 学 費 減 免 制 度 】

奨学金制度のほかにも、大学独自の学費減免制度を用意しています。

No.	対　　象	免除する費用	申請時期等
1	同一の扶養者により扶養されている兄・姉が本学に在学する入学生（双子入学の場合はどちらか1名）	入学金	入学した年度の6月末まで
2	日本学生支援機構等奨学金を受けても、なお学費納入が困難で学業成績が平均水準以上の者（2～4年次）＜採用枠あり＞	後学期：施設整備費、教育充実費（単年度採用）	7月上旬
3	１年以内に家計に急変があり日本学生支援機構等奨学金の給付奨学金（給付を受けていない者は第一種奨学金を、第Ⅲ区分の者は第一種奨学金を含む）及び第二種奨学金を併用しても、なお、学費納付が困難な者	該当学期：施設整備費、教育充実費（単年度採用）	随時応相談

奨学金に関するお問い合わせ ／ 日本体育大学　学生支援センター

TEL：03-5706-0904（全般）　TEL：03-5706-0969（日本学生支援機構奨学金専用）

多様な修学サポート

皆さんが安心して学業やスポーツに専念できるよう、日体大では奨学金・学費減免制度等を用意してサポートしています。

【高等教育の修学支援新制度】

日本体育大学は「高等教育の修学支援新制度(授業料等減免・給付型奨学金)」の対象校に認定されています。本制度は2020年4月からスタートし、一定の学業基準、家計基準を満たせば、授業料等の減免や日本学生支援機構の給付奨学金が受けられる制度です。

制度の概要	授業料・入学金の免除または減額と、給付型奨学金により、意欲ある学生の「学び」を支援
支援内容	1.授業料・入学金の免除または減額　2.日本学生支援機構給付型奨学金の支給
支援対象	住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生 ※支援を受けられる年収目安と支援額は、日本学生支援機構ホームページにて確認してください。 日本学生支援機構　進学資金シミュレーター https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html
申請方法	日本学生支援機構(給付型奨学金)申込手続きを行ってください。 採用者に対しご案内します。

文部科学省ホームページ➡https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

【外部団体等の奨学金制度】

○日本学生支援機構(給付型・貸与型奨学金)／憲法、教育基本法に定める「教育の機会均等」の理念のもと、経済的理由で修学が困難な学生等に学資の貸与及び給付を行っており、本学でも多くの学生が利用しています。「給付」奨学金と「貸与」第一種奨学金(利子なし)、「貸与」第二種奨学金(利子付)があります。いずれも給付・貸与者は学生本人となり、貸与については卒業後返還義務があります。

申込資格	経済的理由により修学に困難で優れた学生等であると認められる者
申込基準	申込む奨学金によって異なります。説明会で配布する冊子または日本学生支援機構ホームページにてご確認ください。
対象者	1.予約採用：高校在学中に予約採用(給付型・貸与型)が決定している学生を対象 2.定期採用：全学生(留年生や休学中の学生を除く) 3.緊急応急採用：【給付】３ヶ月以内に家計が急変した学生(留年生や休学中の学生を除く) 【貸与】１年以内に家計が急変した学生(留年生や休学中の学生を除く) 4.二次採用：全学生(留年生や休学中の学生を除く)
説明会開催時期	1.予約採用：４月初旬(掲示およびn-passで告知) 2.定期用：３月下旬および４月上旬(掲示およびn-passで告知) 3.緊急応急採用：随時、学生支援センター窓口にて対応 4.二次採用：９月下旬～10月上旬(掲示およびn-passで告知)毎年募集があるとは限りません 申込みを行うには説明会への学生本人の参加が必須となります。

○地方公共団体(都道府県等)等／大学に対して案内が来るものと、各団体HP等に掲載されるものがあります。特に地方公共団体につきましては、保護者の居住している地域の各自治体、教育委員会等にお問い合わせください。大学に対して案内が来たものについては、随時、掲示またはn-passのお知らせに掲載しています。

【各種ローン】

必要に応じて下記の教育ローンをご利用できます。詳細については、各問い合わせ先へご連絡の上、手続きをお願いいたします。

○日本政策金融公庫(国の教育ローン)／教育資金を必要とされる皆様へ、国の施策の一環として設けられた融資制度です。日本政策金融公庫窓口や銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協の窓口でも取り扱っており、申込者が直接契約するものです。

○名　称：「国の教育ローン」　○取扱先：株式会社日本政策金融公庫

○問合せ先：「国の教育ローン」コールセンター　(営業時間　月～金9:00～21:00、土9:00～17:00) Tel　0570－008656

URL　https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html

○提携学費ローン／日本体育大学が提携する企業を通し、一般より有利な条件で学費を融資してもらう制度です。提携企業による申請資格や審査、融資年利率が設定されるものです。

名称	日本体育大学学費ローン	日本体育大学　提携型楽天銀行教育ローン
提携先	株式会社オリエントコーポレーション	楽天銀行株式会社
問合せ先	株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク	楽天銀行　カードセンター 教育ローン専用ダイヤル
営業時間	営業時間9:30～17:30 (土日祝日を除く)	平日9:00～19:30／土日祝日9:00～17:30
電話	0120－517－325	0120－61－6910

これからの日体大をともに創っていこう！

～日本体育大学同窓会　Nittai Alumni　紹介～

全国のさまざまな職域で母校や社会のために尽力する日体大OB・OG。
日本体育大学同窓会は会員相互の連携・親睦を深め、日体ファミリーの一員として母校の発展に寄与することを目的に多様な活動を展開しています。
スポーツ・教育・公務に限らず、ビジネス全般で、卒業後も「日体大の絆のありがたさを実感した」と多くの先輩が述べています。
同窓会活動にいっそう関心と感謝の気持ちを持ち、日体大ブランドをともに継承・発展させていきましょう。

母校の進化と学生の成長を支える「日體未来応援団」として

日本体育大学同窓会　会長
塩谷 和雄

卒業生の社会での活躍は、学生時代に培った学びと育ち、切磋琢磨の結晶であり、大学に対する社会の評価指標にもなり得ます。直近のオリンピックやパラリンピックでの活躍が国民に多くの感動と勇気・希望を与えてくれたことが証でもあります。日体大関係者、後輩の皆さんのご活躍に対しまして心から敬意を表し、紙面を通じて拍手をお送りします。

同窓会は、左表に記載のように、大学教職員の代表と同窓会ブロック代表、企業人、行政経験者など、学校教員主体で立ち上がった昭和の時代に比べ、産学官民にパイプを持った多様な構成員により運営されています。そして、全国47都道府県（50支部）において、学生支援策や研修事業等の諸活動を展開し、現在に至っています。

今日の大学と同窓会は、持続可能な範囲で支援し合う双方向関係にあると言えます。したがって、母校卒業の有無を問わず、大学のすべての教職員と卒業生が力を合わせ、その発展と学生の成長を後押しする相互関係を築く時代が到来していると自覚しています。

そうした意味で、２０５０年問題を見据え、Nittai Healthy Longevity Study（日体大健康長寿研究）の一環として取り組む「日体大卒業生健康寿命延伸プロジェクト」に対して、同窓会が積極的に協力する意義は大きく、すでに会誌「日體人」第10号等で広く発信されているところです。また、左図のように、令和２年度から7ブロックに改編し、保護者会と足並みを揃えることにより、ブロック会議や都道府県における総会・研修会・親睦会などで、話題や情報が共有できる体制が整いました。保護者の皆さんと呼吸を合わせ、大学並びにご子息ご息女の後方支援に力を注ぐことも同窓会の使命と認識しています。

今日、学生をはじめ日体大関係者を取り巻く環境は著しく変化しています。特に、我が国のスポーツシステムが大きな転換期を迎えており、学校における運動部活動改革と地域移行に関する検討、中体連・高体連等が主催する大会の開催基準・出場資格の見直しと緩和（地域・民間スポーツクラブの大会参加等）、指導者の有資格化などの諸施策が推進されています。こうした打ち手が及ぼす影響に十分留意する必要があります。

教育課程外の部活動が見直される一方で、学校現場では精緻なカリキュラム編成と教師の授業力がより重視されてきます。優れた教科指導力は勿論のこと、教材開発や高度な情報技術も一層求められてきます。体育が好きな子、スポーツが苦手でも健康を大切にできる子どもを育むことができるよう、母校日体大から優れた教師が陸続と巣立っていくことを願っています。

さらに、子どもたちが「もっと体を動かしたい」「もっと上手になりたい」と地域フィールドに飛び出していく姿を想像してほしいと思います。そこにもまた優れた指導者が求められます。学校教育に教員免許が必需なように、今後、地域スポーツの指導・コーチング、競技大会のベンチ入り等には、ＪＳＰＯ（公益財団法人日本スポーツ協会）公認指導者資格の取得が不可欠となってまいります。

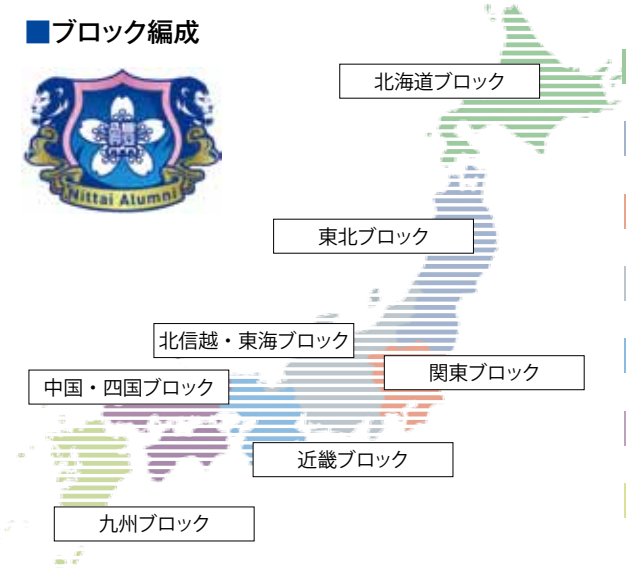
同窓会としては、こうした一連の流れの中で、学生や卒業生が学校・地域・民間企業等の各分野・職域で活躍できるよう有効な支援策を講じていきたいと考えています。そして、日体ファミリーの一員として、母校の進化と学生の成長を支える「日體未来応援団」との自負のもと、更なる活動を展開してまいります。

■令和2・3・4年度　役員一覧

役　職	氏　名	卒業年	備　考
会　長	塩谷　和雄	1974	
副会長	中村　ふじ	1976	学識経験者（教育行政）
	八木沢　誠	1984	大学（副学長・スポーツ文化学部）
	中村　欽哉	1987	民間・企業代表
	米山　英津子	1980	女性参加促進代表
	佐藤　博明	1976	北海道ブロック代表（道央支部長）
	藤原　英輔	1962	東北ブロック代表（岩手県会長）
	高田　幸一	1975	関東ブロック代表（東京都会長）
	町田　暁世	1973	北信越・東海ブロック代表（長野県会長）
	作本　正隆	1968	近畿ブロック代表（京都府会長）
	近藤　芳夫	1971	中国・四国ブロック代表
	長友　寧雄	1974	九州ブロック代表（宮崎県会長）

役　職	氏　名	卒業年	備　考
監事	巴　伸一	1979	
	瀧口　和伸	1990	
幹事長	高田　佳朗	1982	
幹　事	佐野　昌行	2005	大学（スポーツマネジメント学部）
	福井　元	1999	大学（スポーツ文化学部）
	堀井　誠二	1987	広報戦略
	田口　久美子	1987	広報戦略
	亀山　有希	1995	大学（児童スポーツ教育学部）
	波多腰　克晃	2003	大学（スポーツ文化学部）
	岩切　大作	1996	民間・企業
	町田　信行	1988	民間・企業
事務局長	大海　二朗	1992	大学（校友課長 兼 広報課長）

■ブロック編成



北海道ブロック	道央　道南　道東　道北
東北ブロック	青森　秋田　岩手　山形　宮城　福島
関東ブロック	茨城　栃木　群馬　埼玉　千葉　東京　神奈川　山梨
北信越・東海ブロック	新潟　富山　石川　福井　長野　静岡　愛知　岐阜　三重
近畿ブロック	滋賀　京都　大阪　奈良　和歌山　兵庫
中国・四国ブロック	鳥取　島根　岡山　広島　山口　香川　徳島　愛媛　高知
九州ブロック	福岡　佐賀　長崎　大分　熊本　宮崎　鹿児島　沖縄

■同窓会事業の年次推移

赤枠は今期

項目＼年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4
国際イベント等			リオ オリ・パラ	平昌 冬季	W杯 サッカー	W杯 ラグビー	コロナ禍～	東京 オリ・パラ	北京 冬季
日体フェスティバル	世田谷	健志台	世田谷	健志台	世田谷	健志台	ー	世田谷	
体育研究発表実演会	茨/栃/群	東京	阪/和	東京	青/秋	東京	ー	東京	地方
活性化推進基本計画 → アクションプラン	【黎明】第1ステージ	・マネジメント研究会 ・水墨画×和楽器ライブ ・ネオ県人会 ・女子活性化研究会 ・マーケティング講座		【黎明】第2ステージ	・民間・企業人全国大会 ・同窓会シンボル作成 ・入会促進チラシ制作 ・HPリニューアル ・全国女性代表者会議		【黎明】第3ステージ	●緊急学生支援（寄付金） ●新ブロック体制　施行 ●母校創立130周年 ●支部活動の充実 ●ウィズ・コロナ研究	

学部新設…学生のキャリア多様性　／　会員の職業多様性　／　ライフステージや分野・領域に応じた支援

同窓会誌『日體人』10号

日本体育大学同窓会HPでご覧いただけます。
https://www.nittai-club.com/backnumber/

■今期の重点事業（令和2・3・4年度）

● 緊急学生支援（寄付金）
コロナ禍における学生への支援（R2実施/¥21,000,000円）
学校法人日本体育大学「雄渾奨学金」への寄付

●新ブロック体制 施行
ブロック改編による保護者会との連携（R2～）
「関東」・「近畿」の独立、「北信越・東海」の新設等

●母校創立130周年（R3）
母校との、さらなる連携強化
体育研究発表実演会（地方開催）への協力・支援

●支部活動における学生支援の強化（R3）
全国都道府県（50支部）のオンライン整備
オンライン会議システム（Zoom）の導入等

●Withコロナ研究・実践
新たな活動様式の模索、
オンライン会議・懇談、
Web事業・就職研修、
セミナー等

■令和４年度　入学試験結果

■日本体育大学

【大学の入試データ】3月23日現在

学部	学科	区分	志願者数	志願者数（女子）	受験者数	受験者数（女子）	合格者数	合格者数（女子）	競争率
体育学部	体育学科	総合型選抜	534	176	527	174	301	116	1.75
		推薦入試	444	143	444	143	425	139	1.04
		一般入試	1,050	258	995	244	345	97	2.88
		特別	9	2	9	2	8	2	1.13
		合計	2,037	579	1,975	563	1,079	354	1.83
	健康学科	総合型選抜	149	79	149	79	109	64	1.37
		推薦入試	54	34	54	34	49	33	1.10
		一般入試	396	194	373	181	132	68	2.83
		特別	1	0	1	0	1	0	1.00
		合計	600	307	577	294	291	165	1.98
	合計	総合型選抜	683	255	676	253	410	180	1.65
		推薦入試	498	177	498	177	474	172	1.05
		一般入試	1,446	452	1,368	425	477	165	2.87
		特別	10	2	10	2	9	2	1.11
		合計	2,637	886	2,552	857	1,370	519	1.86
スポーツ文化学部	武道教育学科	総合型選抜	46	16	46	16	46	16	1.00
		推薦入試	58	12	58	12	58	12	1.00
		一般入試	7	3	7	3	6	3	1.17
		特別	0	0	0	0	0	0	-
		合計	111	31	111	31	110	31	1.01
	スポーツ国際学科	総合型選抜	39	15	39	15	36	12	1.08
		推薦入試	19	8	19	8	18	8	1.06
		一般入試	253	73	238	72	197	54	1.21
		その他	1	0	1	0	0	0	0.00
		合計	312	96	297	95	251	74	1.18
	合計	総合型選抜	85	31	85	31	82	28	1.04
		推薦入試	77	20	77	20	76	20	1.01
		一般入試	260	76	245	75	203	57	1.21
		特別	1	0	1	0	0	0	0.00
		合計	423	127	408	126	361	105	1.13
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	総合型選抜	104	24	103	24	57	18	1.81
		推薦入試	75	14	75	14	74	14	1.01
		一般入試	407	103	394	101	128	32	3.08
		その他	3	1	3	1	1	0	3.00
		合計	589	142	575	140	260	64	2.21
	スポーツライフマネジメント学科	総合型選抜	75	31	75	31	56	28	1.34
		推薦入試	39	13	39	13	37	13	1.05
		一般入試	182	65	177	65	99	35	1.79
		特別	0	0	0	0	0	0	-
		合計	296	109	291	109	192	76	1.52
	合計	総合型選抜	179	55	178	55	113	46	1.58
		推薦入試	114	27	114	27	111	27	1.03
		一般入試	589	168	571	166	227	67	2.52
		特別	3	1	3	1	1	0	3.00
		合計	885	251	866	249	452	140	1.92
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース	総合型選抜	50	31	49	31	46	28	1.07
		推薦入試	43	27	43	27	43	27	1.00
		一般入試	175	92	168	85	143	72	1.17
		特別	0	0	0	0	0	0	-
		合計	268	150	260	143	232	127	1.12
	幼児教育保育コース	総合型選抜	25	23	23	22	18	18	1.28
		推薦入試	22	17	22	17	22	17	1.00
		一般入試	27	21	24	19	18	14	1.33
		特別	0	0	0	0	0	0	-
		合計	74	61	69	58	58	49	1.19
	合計	総合型選抜	75	54	72	53	64	46	1.13
		推薦入試	65	44	65	44	65	44	1.00
		一般入試	202	113	192	104	161	86	1.19
		特別	0	0	0	0	0	0	-
		合計	342	211	329	201	290	176	1.13
保健医療学部	整復医療学科	総合型選抜	84	32	82	30	58	22	1.41
		推薦入試	30	12	30	12	30	12	1.00
		一般入試	62	13	61	13	22	5	2.77
		特別	0	0	0	0	0	0	-
		合計	176	57	173	55	110	39	1.57
	救急医療学科	総合型選抜	49	13	48	13	39	12	1.23
		推薦入試	16	6	16	6	15	5	1.07
		一般入試	56	6	56	6	54	6	1.04
		特別	0	0	0	0	0	0	-
		合計	121	25	120	25	108	23	1.11
	合計	総合型選抜	133	45	130	43	97	34	1.34
		推薦入試	46	18	46	18	45	17	1.02
		一般入試	118	19	117	19	76	11	1.54
		特別	0	0	0	0	0	0	-
		合計	297	82	293	80	218	62	1.34

※総合型選抜内訳：トップアスリート（競技実績）型 10月・12月・3月、課題探究型、運動適性型、プレゼンテーション型
※学校推薦型選抜内訳：スポーツ推薦、指定校推薦
※一般選抜内訳：一般選抜前期、後期
※特別選抜内訳帰国生選抜、外国人留学生選抜、国際バカロレア（IB）資格選抜

※総合型選抜内訳：トップアスリート（競技実績）型 10月・3月、課題探究型
※学校推薦型選抜内訳：スポーツ推薦、指定校推薦
※一般選抜内訳：一般選抜前期、後期
※特別選抜内訳：帰国生選抜

※総合型選抜内訳：トップアスリート（競技実績）型 10月、課題探究型、プレゼンテーション型
※学校推薦型選抜内訳：スポーツ推薦、指定校推薦
※一般選抜内訳：一般選抜前期、後期
※特別選抜内訳：帰国生選抜、外国人留学生選抜、リカレント選抜

※総合型選抜内訳：課題探究型、プレゼンテーション型
※学校推薦型選抜内訳：スポーツ推薦、指定校推薦
※一般選抜内訳：一般選抜前期、後期

※総合型選抜内訳：課題探究型、プレゼンテーション型
※学校推薦型選抜内訳：スポーツ推薦、指定校推薦
※一般選抜内訳：一般選抜前期

■日本体育大学　編入学

学科	志願者数	志願者数（女子）	受験者数	受験者数（女子）	合格者数	合格者数（女子）
体育学部	18	2	18	2	12	2
スポーツマネジメント学部	2	0	2	0	1	0
児童スポーツ教育学部	1	1	1	1	1	1

※スポーツ文化学部、保健医療学部は出願なし

■日本体育大学大学院　体育科学研究科

【大学院の入試データ】3月15日現在

【博士前期課程】　募集人員Ⅰ期＋Ⅱ期合わせて

①体育科学学位プログラム＋体育実践学学位プログラム 25名
②コーチング科学学位プログラム＋コーチング実践学学位プログラム 12名

学位プログラム	コース	Ⅰ期／Ⅱ期	志願者合計	合格者合計	入学手続者数
体育科学学位プログラム	体育スポーツ文化社会学コース	Ⅰ期試験	5	2	2
		Ⅱ期試験	4	2	2
	スポーツマネジメントコース	Ⅰ期試験	5	2	2
		Ⅱ期試験	3	1	1
	トレーニング科学コース	Ⅰ期試験	19	9	9
		Ⅱ期試験	11	8	8
	健康スポーツ医科学コース	Ⅰ期試験	10	5	5
		Ⅱ期試験	5	4	4
	身体教育・健康教育コース	Ⅰ期試験	9	4	4
		Ⅱ期試験	3	2	2
体育実践学学位プログラム	スポーツマネジメントコース	Ⅰ期試験	0	0	0
		Ⅱ期試験	0	0	0
	身体教育・健康教育コース	Ⅰ期試験	1	0	0
		Ⅱ期試験	1	1	1
体育科学学位プログラム・体育実践学学位プログラム　合計		Ⅰ期試験	49	22	22
		Ⅱ期試験	27	18	18
コーチング科学学位プログラム		Ⅰ期試験	10	8	8
		Ⅱ期試験	4	3	3
コーチング実践学学位プログラム		Ⅰ期試験	6	3	3
		Ⅱ期試験	7	5	4
コーチング科学学位プログラム・コーチング実践学学位プログラム　合計		Ⅰ期試験	16	11	11
		Ⅱ期試験	11	8	7
（Ⅰ期）			65	33	33
（Ⅱ期）			38	26	25
体育学専攻　博士前期課程　合計			103	59	58

【博士後期課程】　募集人員Ⅰ期＋Ⅱ期合わせて

①体育科学学位プログラム　6名
②コーチング科学学位プログラム　3名

学位プログラム	コース	Ⅰ期／Ⅱ期	志願者合計	合格者合計	入学手続者数
体育科学学位プログラム	体育スポーツ文化社会学コース	Ⅰ期試験	0	0	0
		Ⅱ期試験	2	2	2
	トレーニング科学コース	Ⅰ期試験	1	1	1
		Ⅱ期試験	3	3	3
	健康スポーツ医科学コース	Ⅰ期試験	0	0	0
		Ⅱ期試験	1	1	1
	身体教育・健康教育コース	Ⅰ期試験	2	2	2
		Ⅱ期試験	1	1	1
	Ⅰ期試験		3	3	3
	Ⅱ期試験		7	7	7
	Ⅰ期＋Ⅱ期			10	10
コーチング科学学位プログラム		Ⅰ期試験	1	1	1
		Ⅱ期試験	6	5	5
		Ⅰ期＋Ⅱ期	7	6	6
（Ⅰ期）				4	4
（Ⅱ期）				12	12
体育学専攻　博士後期課程　合計				16	16

■日本体育大学大学院　教育学研究科

博士前期課程（募集人員：20名　/Ⅰ期・Ⅱ期合わせて）

教科	Ⅰ期／Ⅱ期	志願者合計	合格者合計	入学手続者数
国語科教育	Ⅰ期試験	0	0	0
	Ⅱ期試験	0	0	0
社会科教育	Ⅰ期試験	0	0	0
	Ⅱ期試験	0	0	0
算数科教育	Ⅰ期試験	0	0	0
	Ⅱ期試験	0	0	0
理科教育	Ⅰ期試験	0	0	0
	Ⅱ期試験	1	1	1
体育科教育	Ⅰ期試験	2	2	1
	Ⅱ期試験	2	2	2
（Ⅰ期試験）		2	2	1
（Ⅱ期試験）		3	3	3
Ⅰ期試験＋Ⅱ期試験　合計		5	5	4

博士後期課程（募集人員：5名　/Ⅰ期・Ⅱ期合わせて）

教科	Ⅰ期／Ⅱ期	志願者合計	合格者合計	入学手続者数
国語教育学	Ⅰ期試験	0	0	0
	Ⅱ期試験	1	1	1
社会科教育学	Ⅰ期試験	0	0	0
	Ⅱ期試験	0	0	0
数学教育学	Ⅰ期試験	0	0	0
	Ⅱ期試験	0	0	0
理科教育学	Ⅰ期試験	0	0	0
	Ⅱ期試験	1	1	1
体育科教育学	Ⅰ期試験	0	0	0
	Ⅱ期試験	0	0	0
（Ⅰ期試験）		0	0	0
（Ⅱ期試験）		2	2	2
Ⅰ期試験＋Ⅱ期試験　合計		2	2	2

■日本体育大学大学院　保健医療学研究科

修士課程（募集人員：８名　/Ⅰ期・Ⅱ期合わせて）

コース	Ⅰ期／Ⅱ期	志願者合計	合格者合計	入学手続者数
高度実践柔道整復師コース	Ⅰ期試験	1	1	1
	Ⅱ期試験	1	0	0
救急災害医療学コース	Ⅰ期試験	5	5	4
	Ⅱ期試験	9	8	8
（Ⅰ期試験）		6	6	5
（Ⅱ期試験）		10	8	8
Ⅰ期試験＋Ⅱ期試験　合計		16	14	13

博士課程（募集人員：各専攻２名　/Ⅰ期・Ⅱ期合わせて）

専攻	Ⅰ期／Ⅱ期	志願者合計	合格者合計	入学手続者数
運動器柔道整復師学専攻（2名）	Ⅰ期試験	1	1	1
	Ⅱ期試験	0	0	0
救急災害医療学専攻（2名）	Ⅰ期試験	1	1	1
	Ⅱ期試験	2	2	2
（Ⅰ期試験）		2	2	2
（Ⅱ期試験）		2	2	2
Ⅰ期試験＋Ⅱ期試験　合計		4	4	4

令和4年度　日本体育大学　役職者一覧

【学長・副学長】

学長	石井　隆憲

（企画・管理・運営担当）

副学長	水野　増彦

（教学・学生生活担当）

副学長	八木沢　誠

【学長室＝内部質保証機関】

室長	近藤　智靖（兼）
室長補佐	松浪　登久馬

【IR 室】

室長	鈴川　一宏（兼）
室長補佐	大石　健二（兼）

【教学組織】

研究科長代表	阿江　通良（兼）
体育学研究科長	阿江　通良
体育科学研究科長	阿江　通良（兼）
教育学研究科長	近藤　智靖（兼）
保健医療学研究科長	横田　裕行
体育学部長	野井　真吾
体育学科長	大本　洋嗣
健康学科長	鈴川　一宏
体育学部長補佐	関根　正美（兼）
体育学部長補佐	小林　正利（兼）
スポーツ文化学部長	岡出　美則
武道教育学科長	齋藤　一雄
スポーツ国際学科長	山口　和之
スポーツマネジメント学部長	日比野　幹生
スポーツマネジメント学科長	齊藤　隆志
スポーツライフマネジメント学科長	依田　充代
児童スポーツ教育学部長	近藤　智靖
児童スポーツ教育学科長	須永　美歌子
児童スポーツ教育コース主任	関　芽
幼児教育保育コース主任	中島　龍一
保健医療学部長	中里　浩一
整復医療学科長	久保山　和彦
救急医療学科長	小川　理郎

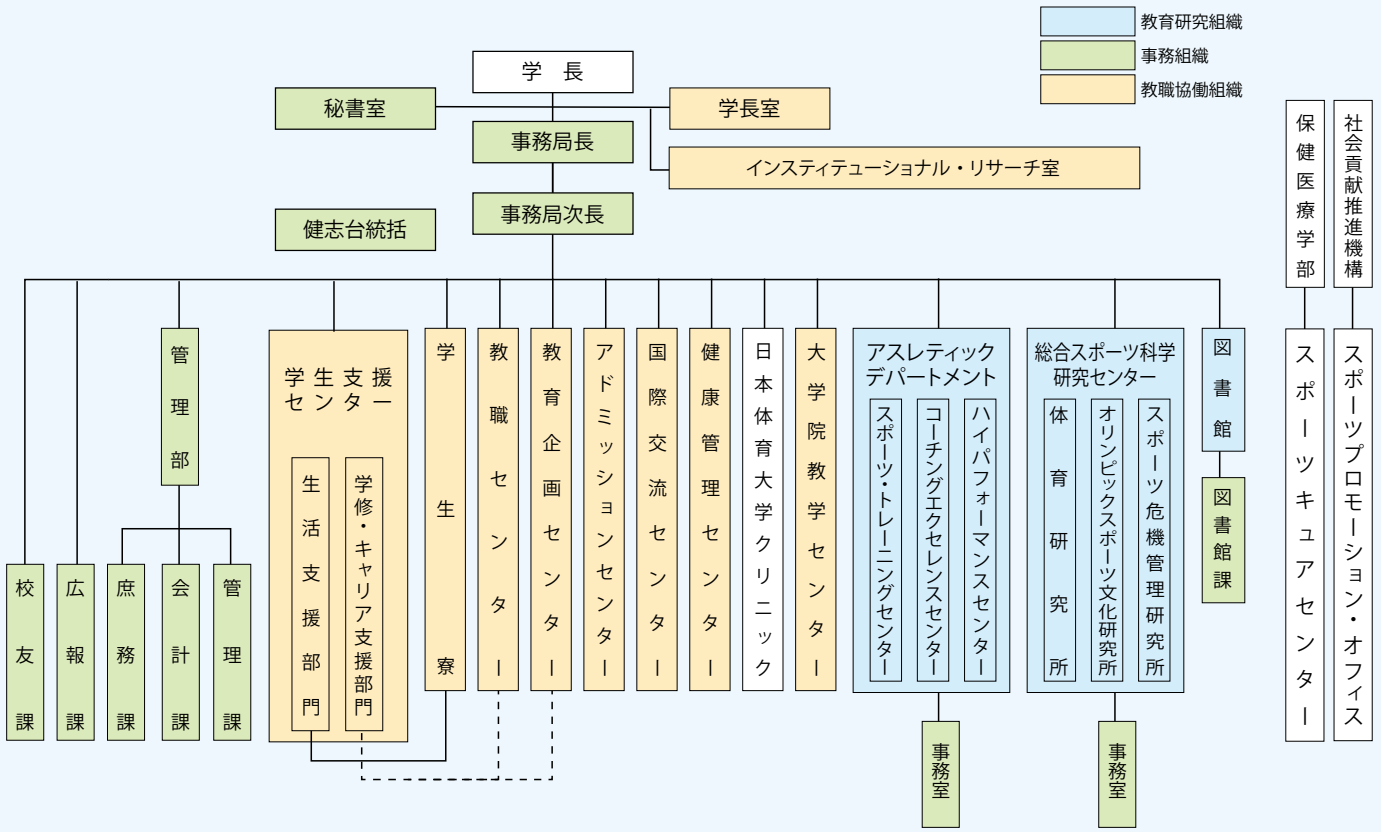
【附置機関等】

図書館長	木村　直人
学生支援センター長	津田　博子
副センター長	藤田　将弘
学修・キャリア支援部門長	藤田　将弘（兼）
副センター長	小泉　和史
生活支援部門長	小泉　和史（兼）
教職センター長	半田　勝久
アドミッションセンター長	三宅　良輔
副センター長	竹腰　誠
大学院教学センター長	阿江　通良（兼）
教育企画センター長	小林　正利
副センター長	大石　健二
総合スポーツ科学研究センター長	岡本　孝信
体育研究所長	中里　浩一（兼）
オリンピックスポーツ文化研究所	関根　正美
スポーツ危機管理研究所	野井　真吾（兼）
アスレティックデパートメント長	西山　哲成
ハイパフォーマンスセンター長	杉田　正明
コーチングエクセレンスセンター長	伊藤　雅充
スポーツ・トレーニングセンター長	黄　仁官
国際交流センター長	金田　英子
健康管理センター長	平沼　憲治
日本体育大学クリニック院長	平沼　憲治（兼）
寮監長	古澤　伸晃
（保健医療学部）	
スポーツキュアセンター長	伊藤　　譲

※令和4年4月1日現在

令和4年4月1日現在

事　務　組　織



令和3年度学友会祝勝会を開催しました。

2022年3月4日（金）、東京・世田谷キャンパス記念講堂にて令和3年度学友会祝勝会が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響による会の縮小に伴い、対面での参加団体を学友会会長賞受賞団体のみに制限いたしました。新たな試みとしてオンラインでの同時配信を行い、計62名の方々が、画面を通じて出席してくださいました。

学友会会長賞は優秀な成績を収めた団体並びに学友会の発展に大きく貢献した団体を対象に授与されます。今年度は全24団体が受賞いたしました。

【学友会会長賞受賞団体】

ウエイトリフティング、カヌー、自転車競技、少林寺拳法、相撲、ソフトボール男子、トライアスロン、フェンシング、ボート、ライフセービング、ラクロス女子、レスリング、アルティメット・チーム、エアロビック同好会、アクアスポーツ研究会、バーベルクラブ、応援団、チアリーダー、ブラスバンド、伝統芸能・和太鼓同好会、家政、山岳、キャンプインストラクターアカデミー、ダブルダッチサークル

東京・世田谷キャンパスにバスシェルターが設置されました！

東京・世田谷キャンパス正面ロータリーのバス停にバスシェルター（屋根）が設置されました。これまではシャトルバスの乗降・待機場所でしたが、屋根がなく、雨天時にはベンチも濡れてしまい、傘を差して並ぶ学生の姿も見受けられました。このバスシェルターは新型コロナウイルス感染症の影響により、一部執行されていない保護者会費を有効活用し、設置されました。今後の快適な学生生活の一助になるよう願っています。

ゴルフ部がプロツアー優勝の報告と年間の活動報告をいたしました。

2022年3月7日（月）にゴルフ部木原祐二部長、江原清浩監督、石川航選手、河本力選手、中島啓太選手が年間の活動と優勝を報告しました。中島選手はアマチュア選手5人目の快挙となるプロツアー（パナソニックオープン）にて優勝を果たし、アマチュア世界ランク１位にも輝きました。また、今年４月にアメリカ（オーガスタ）で開催される予定のマスターズ選手権に出場のほか、メジャー３大大会の出場権も獲得しています。３名の今後の活躍を期待しています。引き続き皆様の応援をよろしくお願いいたします。

学報NITTAIDAI（ニッタイダイ）68号
発行日●2022年4月1日
発行●日本体育大学広報課
TEL 03-5706-0948
FAX 03-5706-0922
http://www.nittai.ac.jp/
制作協力●（株）図書出版